

- 13日にNYダウの下落幅は前日比617ドルと、1月3日以来の大きさに。米中両国の追加関税の応酬で貿易摩擦が激化すると懸念が高まったことが、米国を始めとする世界的な株価下落につながる。
- 足もとの米国株下落は米国や世界経済の先行き懸念というよりも、イベントリスクとみることが可能といえることなどから、目的的に米国株の下げが加速する可能性は大きくないと思われる。

13日の米国株はおよそ4ヵ月半ぶりの大幅下落

13日の米国市場では主要株価指数が急落、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）の下落幅は前日比617ドル、下落率は同2.4%と、いずれも1月3日以来およそ4ヵ月半ぶりの大きさとなりました。

米中貿易交渉は双方の溝が埋まらないまま終了し、米トランプ政権は10日、中国からの輸入品2,000億米ドル相当に対する関税を10%から25%に引き上げたほか、米通商代表部（USTR）は、関税を上乗せしていないおよそ3,000億米ドル相当の輸入品についても関税を引き上げる手続きを始めると発表しました。これに対し、中国側は13日、一部の米国からの輸入品に対し最大25%の追加関税を上乗せする報復措置を発表しました。

こうした米中両国の応酬で貿易摩擦が激化すると懸念が高まったことが米国を始めとする世界的な株価下落につながりました。

目先、米国株の下げが加速する可能性は大きくないか

米国の主要株価指数は4月下旬から5月上旬にかけて足もとの高値を付けた後、下落基調にあります。米中貿易交渉に対する楽観的な見方が後退したことから、利益確定とみられる動きが優勢とみられ、当面の米国株式市場は米中貿易交渉をめぐる思惑に振らされる展開が続くと予想されます。

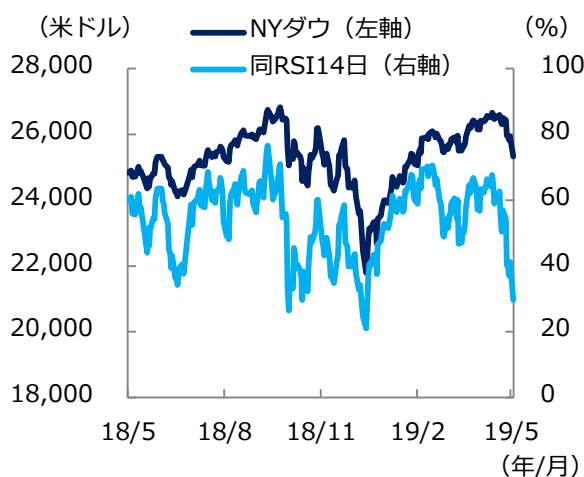
ただし、株価水準を判断するテクニカル指標の1つである相対力指数（RSI）をみると、NYダウのRSI（右上図では14日間）は13日に29.7%と、一般的に売られ過ぎとされる30%を下回りました。

また、S&P500種指数のオプションから算出された変動性（ボラティリティ）で、市場参加者の不安心理を映すとされるVIX指数は、米金利上昇や世界的な景気減速が懸念された2018年2月や12月と比較して相対的に低い水準にあります。

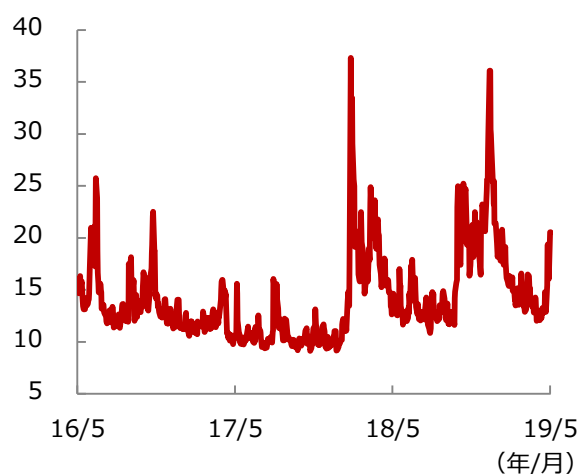
さらに、足もとのVIXの水準は2016年の英国の欧州連合（EU）離脱をめぐる国民投票や米大統領選挙などの水準に近く、こうした観点からは足もとの米国株下落は米国や世界経済の先行き懸念というよりも、イベントリスクとみることが可能といえます。

こうしたことなどを考慮すれば、目的的に米国株の下げが加速する可能性は大きくないと思われます。

NYダウの推移



VIX指数の推移



出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（REIT）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

- ダウ・ジョーンズ工業株価平均およびS&P500種指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、ダウ・ジョーンズ工業株価平均およびS&P500種指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。
- VIX指数はシカゴ・オプション取引所が算出する指数です。